「命の道」伊豆縦貫自動車道だより

平成30年7月発行

起工式の様子

伊豆縦貫自動車道
河津下田道路の
「河津トンネル（仮称）」
起工式が５月19日に
河津町逆川地内で
行われました

この起工式は、河津下田道路区間で初めてのトンネル掘削工事への着手を記念するもので、牧野国土交通副大臣、川勝県知事、地元国会議員、福井市長ほか、伊豆地域の首長や施工業者など合わせて約１１０名が出席をしました。

このトンネルは河津町逆川と同町小鍋を結ぶ全長１，８８４ｍの長さであり、今回はこのうち逆川側から１，３９７ｍ間を掘削します。残りの区間は小鍋側から着工し、今回の工事と同じ時期の完成を目指して行われる予定です。工期はおよそ３年後の２０２１年３月となっています。

今まではこの区間を通過するのに約16分かかりましたが、トンネルを利用することで約２分に短縮されます。

※IC名称はすべて仮称

公共事業用地 代替地登録制度

市では、伊豆縦貫自動車道建設などの公共事業により土地を提供していただく方々の要望にお応えするために、代替地候補となる土地の情報を登録していただく「代替地登録制度」を実施しています。ぜひご協力をお願いします。

●登録の申込方法

代替地として登録を希望される方は、申出書に必要事項を記入し、建設課伊豆縦貫道係にご提出ください。

※申出書は建設課窓口又は市ホームページからダウンロードしてご利用ください。

●注意事項

・登録された土地の全てが代替地として売買されるわけではありません。

・登録後も売買契約が成立するまでは自由に使用、処分することができます。

・登録内容を変更する場合や登録を取り下げる場合は、届出をお願いします。

・登録の費用は無料です。

●税の特別控除

一定の条件のもと、代替地の契約が成立した場合には、税法上、土地の譲渡所得のうち１，５００万円までの特別控除があります。

建設発生土の活用について

市では、縦貫道のトンネル掘削等によって生じる建設発生土について、地域振興につながる有効活用を検討していきます。

今年度から地域の代表者の方々と意見交換を行いながら、発生土受入地の具体的な活用計画を検討し、広報紙や地元説明会を通じて、皆さまからも広く意見を伺いたいと考えています。

伊豆縦貫自動車道に関するご意見・ご質問等は左記までお願いいたします。

問合せ先
建設課伊豆縦貫道係
☎㉒２２１９
国土交通省沼津河川国道事務所
伊豆縦貫自動車道下田推進室
☎㊳０４４５

防災かわら版

～身近な危険生物から身を守る～

問合せ先　防災安全課防災係　☎㊱４１４５

夏から秋にかけては野外での活動が増えるため、ハチに刺されたり、ヘビに噛まれたりする被害が多くなります。

アウトドアレジャーや野外作業等をする際は十分に注意し、万が一刺されたり噛まれたりした場合は、速やかに受診してください。

危険生物１
「ハチ」
（スズメバチ、アシナガバチ等）

◎ハチに刺されないために

・黒や花柄の洋服を避け、白っぽい色の服装で、肌の露出を少なくしましょう。

・ハチは動くものを攻撃します。むやみに手で払ったり、逃げたりせず、ハチが自ら離れるまで落ち着いて行動しましょう。

・ハチの巣を見つけたら、いじったり、近づいたりするのはやめましょう。

◎ハチに刺されたら？

・患部の周囲を強くつまみ、きれいな水で洗い流す。

・患部に、抗ヒスタミン剤が入っている軟膏を塗る。

・発疹、発熱、咳、嘔吐の症状がみられる場合は、早目に受診しましょう。

危険生物２
「ヘビ」
（マムシ、ヤマカガシ等）

◎ヘビに噛まれないために

・草むらや水辺に行くときは、靴や長靴を履きましょう。

・作業をするときは、ゴム手袋や長袖のシャツ、ズボンを着用しましょう。

◎ヘビに噛まれたときは？

・患部を強くつまみ、きれいな水で洗い流す。

・5～10分で急速に腫れ、激しい痛みが出るので、患部より心臓に近い部分を縛り、すぐに受診しましょう。

・腫れや、毒の回りを遅らせるために、患部を冷やす。

※慌てて動き回ると、血流の増加とともに毒の回りも早くなり危険です。

危険生物３
「ダニ」
（マダニ等）

◎ダニに噛まれないために

・草むらに入るときは、足全体を隠すように、長靴や長ズボンを履き、ダニを見つけやすいように、明るい色の服を着用しましょう。

・ダニの餌となるホコリやゴミを出さないよう、掃除を定期的に行いましょう。

・ペットはダニの良い住処となります。週に2回程度、ペットのシャンプーをしましょう。

◎ダニに噛まれたら

・噛みついたダニを無理やり取ろうとすると、ダニの体の一部が残ったり、ダニの体液が逆流するおそれがあるので、噛みついているダニを見つけたら、病院で処置してもらいましょう。

・数週間は体調変化を気にかけ、発熱等の症状が出たら、受診しましょう。

ジオパーク通信

南からきた火山の贈りもの

伊豆半島ジオパークが世界ジオパークの認定を受けたことは知っているけれど、詳しくは知らない…。そのような方を対象に、全5回に分けてよくある質問を紹介いたします。

伊豆半島ジオパークが世界認定されたと聞きましたが、特別な場所なんですか？

伊豆半島ジオパークのテーマは「**南からきた火山の贈りもの**」です。

伊豆半島は、2千万年前の大昔、はるか南の海底火山だったことが分かっています。その火山が噴火と隆起を繰り返しながら北上し、本州と衝突したことで半島が誕生しました。

現在も毎年4㎝ぐらいのスピードで本州側を押し続けています。火山が衝突し、隆起したため、本来なら見ることができない海底火山の地層を間近に見ることができる場所があるのが伊豆半島ジオパークの特徴です。

火山というと、近くに富士山や箱根火山がありますが、伊豆半島には噴火している火山はないのですか？

伊豆半島は、本州に衝突した後、天城山（伊豆市～河津町）やだるま山（沼津市～伊豆市）などの陸上で火山の活動がありました。

これらの火山は現在、活動を休止していますが、地下深くには熱いマグマがたまっており、1989年には伊東市沖で小規模な噴火も起きました。

恵比須島
美しいしましま模様は海底火山の造形です。

問合せ先
伊豆半島ジオパーク推進協議会
☎㉒０５２０